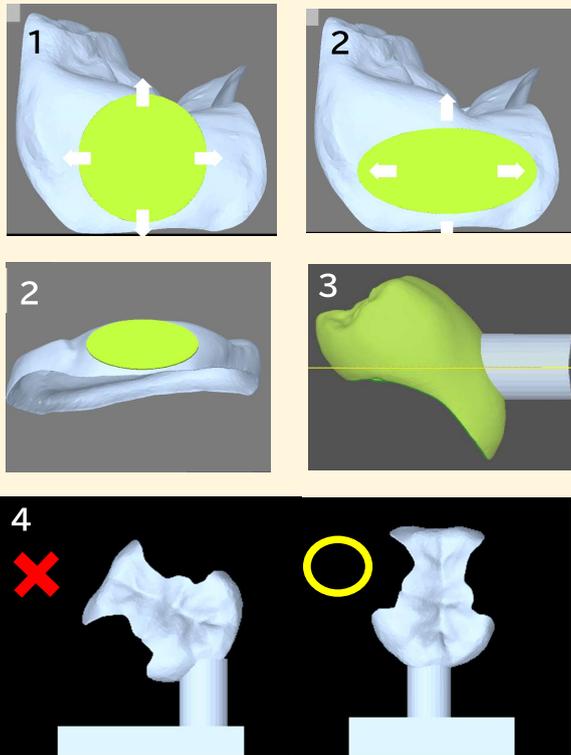


Aadva ハーモニー L-CAM を 正しくお使いいただくために

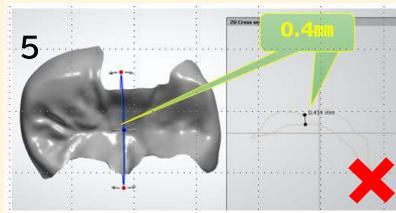


L-CAM 作業でレスト（サポートピン）を付与する際に、ご注意ください。

○ セラスマート・LiSi ブロック

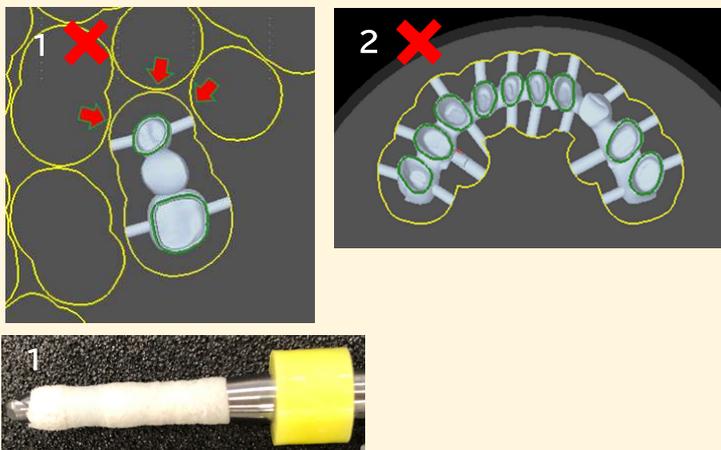


1. デフォルトであるφ3.5 (9.621 mm²) のレストを使用してください。
2. φ3.5 のレストの設定が困難なケースは楕円などに形状を変更して設計してください。例えば歯冠長が短い場合、楕円にして出来る限り幅広くレストを付与してください。
3. レストはブロック中央に位置するよう配置してください。
4. レストは出来る限り広い面に設定し、ジグに対して垂直に設定するようにしてください。
5. 補綴物データの厚みは加工される材料の厚みに準じてください。(セラスマート、LiSi ブロックは共に 1 mm 以上) 厚みが不足していると加工中のトラブルに繋がります。



※ 加工バーの管理は加工時間だけではなく、日々のメンテナンス時に加工バー先端刃の破損の確認、切削クズを除去することで加工トラブルを未然に防ぐことができます。

○ PMMA ディスク



1. 補綴データとすでに加工された stl データ境界線（黄色枠）を近づけすぎないように補綴データを配置してください。補綴データと stl データ境界線（黄色枠）が近接していると加工中にたわみが生じ、加工バーに PMMA の切子が巻き付き加工不良を起こすことがあります。
2. レストを多くつけすぎると加工不良になることがありますのでご注意ください。